

## 雇用先アンケート集計

2020年10月

①対象卒業生 2019年3月卒業生

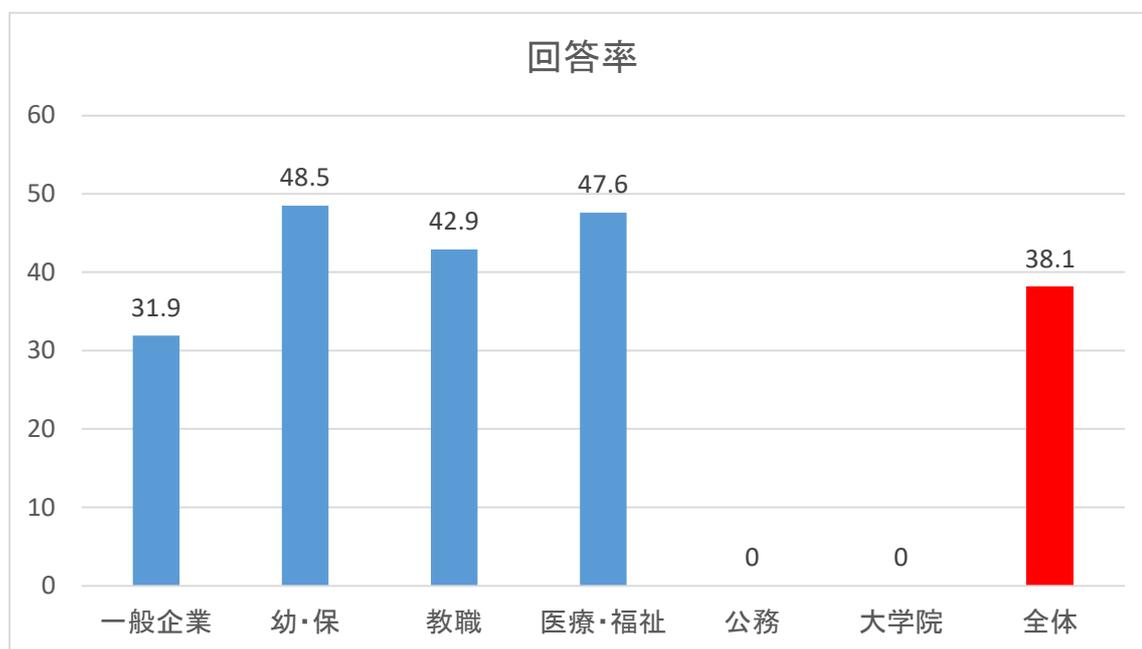
184名の卒業生のうち斡旋不要者12名と未内定者1名を除く171名が対象。  
対象者のうち重複雇用先を除いた、147社にアンケートを実施。

②アンケート投函日 2020年9月10日

③アンケート締切日 2020年10月31日

| 発送先         | 発送件数 | 回答数 | 回答率% |
|-------------|------|-----|------|
| 一般企業        | 47   | 15  | 31.9 |
| 保育園・幼稚園     | 33   | 16  | 48.5 |
| 小・中学校、支援学校等 | 35   | 15  | 42.9 |
| 医療・福祉・病院    | 21   | 10  | 47.6 |
| 公務          | 2    | 0   | —    |
| 大学院         | 9    | 0   | —    |
| 合計          | 147  | 56  | 38.1 |

\*回答欄に会社名が明記されていない6先のアンケートは、内容により判断し下記に区分け。  
(一般企業1、保育園・幼稚園3、医療・福祉・病院2)



Q3、Q4の本社所在地、資本金等についての回答は省略。

Q5以降の質問の身につけるべき能力の点数は

5 身につけている                      4 概ね身につけている                      3 少しは身につけている

2 あまり身につけていない                      1 身につけていない                      0 わからない

で回答を依頼している。

## Q5 本学学生が卒業時に身につけるべき能力

### (I)【一般企業】

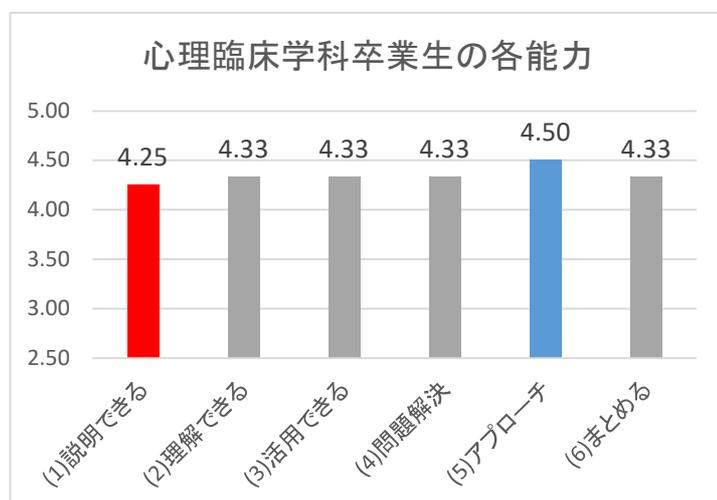
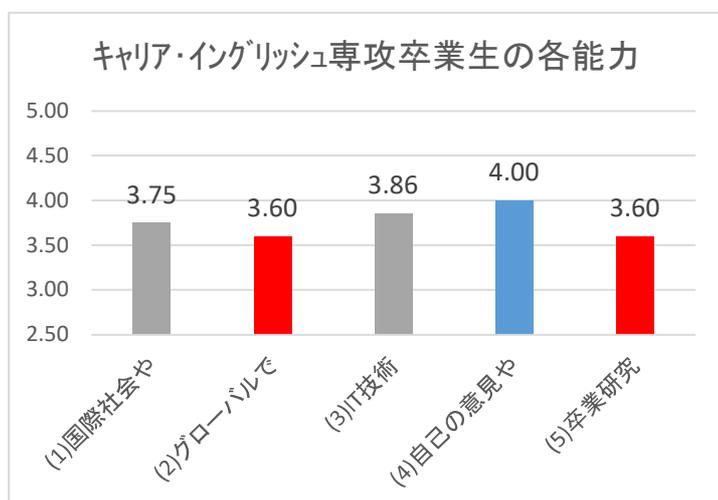
勤務する本学卒業生数

0名・・・1社      1～4名・・・10社      5～10名・・・3社  
 把握していない・・・1社      合計 15社

(赤字; 下位点数、青字; 上位点数)

|   | 身につけるべき能力・・・キャリア・イングリッシュ専攻卒業生                         | 回答幅       | 平均点  |
|---|---|-----------|------|
| 1 | 国際社会や実務で通用する英語運用能力（読む・書く・聞く・話す）を修得し活用できる              | 3.00～4.00 | 3.75 |
| 2 | グローバルで幅広い視野と深い教養を身につけ、異文化社会の多様性を理解できる                 | 3.00～4.00 | 3.60 |
| 3 | IT技術、情報リテラシーやビジネスに関する知識・倫理観、社会人としてのコミュニケーション力を身につけている | 3.00～5.00 | 3.86 |
| 4 | 自己の意見や考えを積極的且つ適切に他者に対して発言・発信できる                       | 3.00～5.00 | 4.00 |
| 5 | 卒業研究を通して、自ら課題を分析し、解決・結論に導く方策を構築できる                    | 2.00～4.00 | 3.60 |

|   | 身につけるべき能力・・・心理臨床学科卒業生   | 回答幅       | 平均点  |
|---|---|-----------|------|
| 1 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる                                      | 4.00～5.00 | 4.25 |
| 2 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる                                 | 4.00～5.00 | 4.33 |
| 3 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の専門的知識を身につけ、現場で活用できる   | 4.00～5.00 | 4.33 |
| 4 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる               | 4.00～5.00 | 4.33 |
| 5 | 多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、心理学、特別支援教育、精神保健福祉の視点を活かしてアプローチすることができる | 4.00～5.00 | 4.50 |
| 6 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる  | 4.00～5.00 | 4.33 |

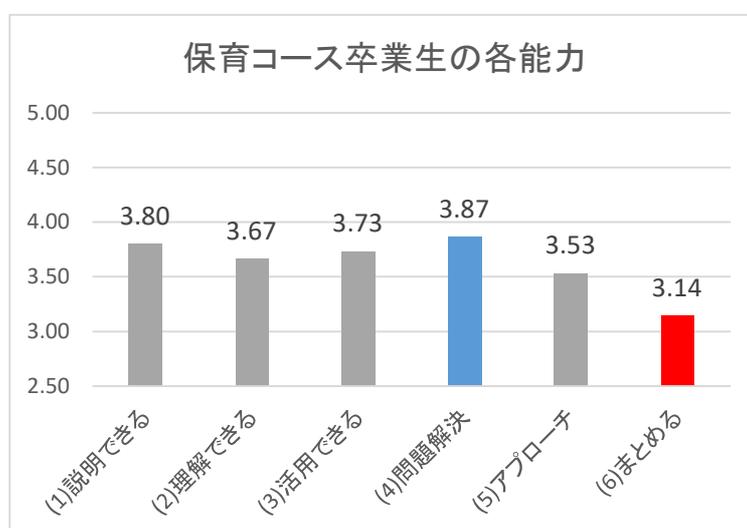


(2) 【幼稚園・保育園】

勤務する本学卒業生数

1～4名・・・12園    5～10名・・・3園    把握していない・・・1園    合計 16園

|   | 身につけるべき能力・・・保育コース卒業生  | 回答幅       | 平均点  |
|---|---|-----------|------|
| 1 | 保育・幼児教育の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる                                    | 2.00～5.00 | 3.80 |
| 2 | 保育・幼児教育のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる                               | 2.00～5.00 | 3.67 |
| 3 | 保育・幼児教育の専門的知識を身につけ、現場等で活用できる                                      | 2.00～5.00 | 3.73 |
| 4 | 他者との協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる                 | 2.00～5.00 | 3.87 |
| 5 | 多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、乳幼児理解の視点を活かしてアプローチすることができる | 2.00～5.00 | 3.53 |
| 6 | 保育・幼児教育に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し結果を整理して考察をまとめることができる | 2.00～4.00 | 3.14 |



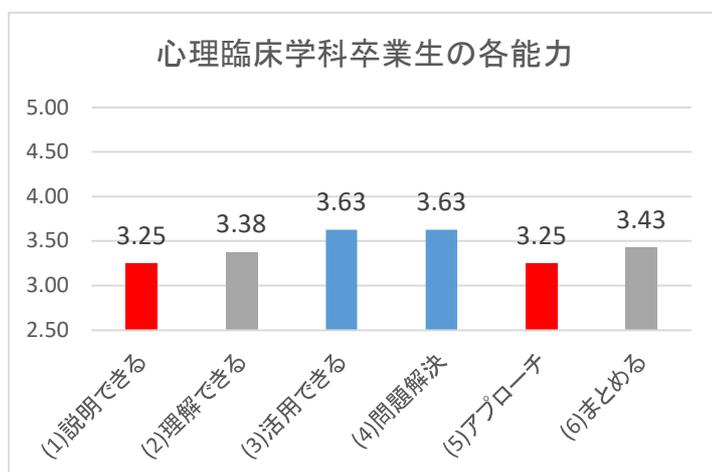
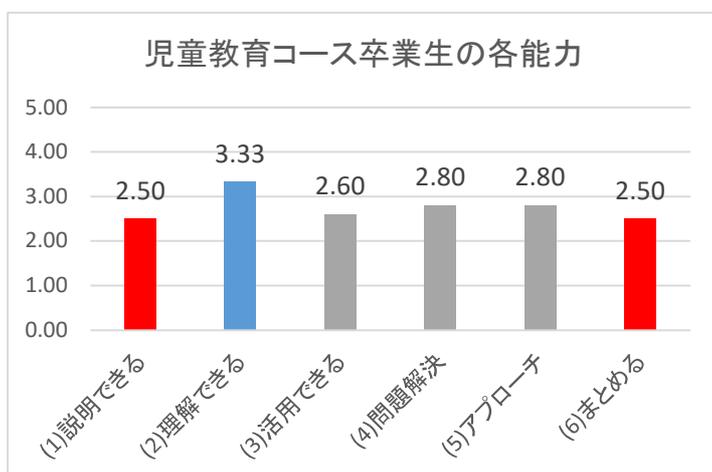
(3) 【小・中学校、支援学校等】

勤務する本学卒業生数

1～4名・・・11校      5～10名・・・4校      合計 15校

|   | 身につけるべき能力・・・児童教育コース卒業生   | 回答幅       | 平均点  |
|---|--|-----------|------|
| 1 | 教育学や子ども学、教科内容や教科教育学の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる                                     | 1.00～4.00 | 2.50 |
| 2 | 教育学や子ども学、教科内容や教科教育学のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる                                | 2.00～4.00 | 3.33 |
| 3 | 教育学や子ども学、教科内容や教科教育学の専門的知識を身につけ、現場等で活用できる                                       | 1.00～4.00 | 2.60 |
| 4 | 小学校等での実習や様々なボランティア活動における協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる          | 1.00～4.00 | 2.80 |
| 5 | 多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、教育者としての視点を活かしてアプローチすることができる             | 1.00～4.00 | 2.80 |
| 6 | 教育学や子ども学、教科内容や教科教育学に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる | 1.00～4.00 | 2.50 |

|   | 身につけるべき能力・・・心理臨床学科卒業生   | 回答幅       | 平均点  |
|---|---|-----------|------|
| 1 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる                                      | 2.00～4.00 | 3.25 |
| 2 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる                                 | 3.00～4.00 | 3.38 |
| 3 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の専門的知識を身につけ、現場で活用できる   | 3.00～4.00 | 3.63 |
| 4 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる               | 3.00～4.00 | 3.63 |
| 5 | 多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、心理学、特別支援教育、精神保健福祉の視点を活かしてアプローチすることができる | 3.00～4.00 | 3.25 |
| 6 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる  | 3.00～4.00 | 3.43 |

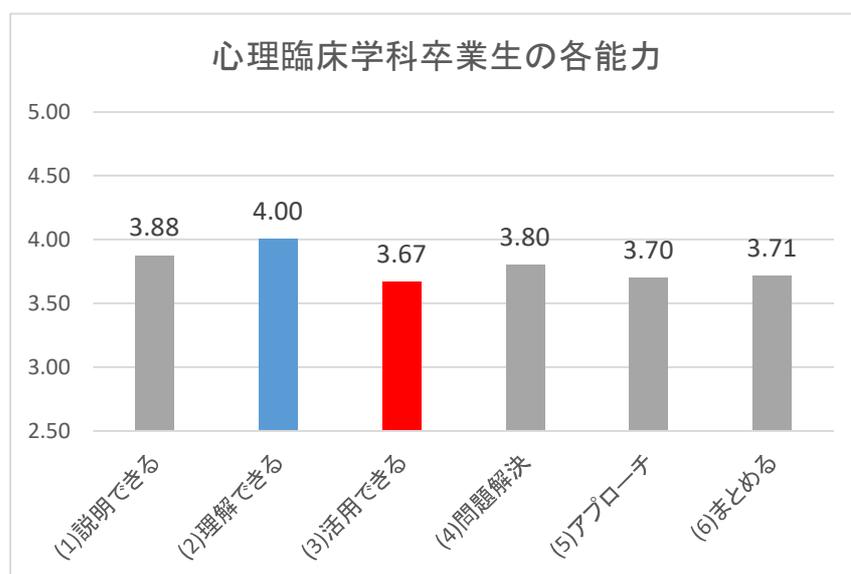


(4) 【医療・福祉・病院】

勤務する本学卒業生数

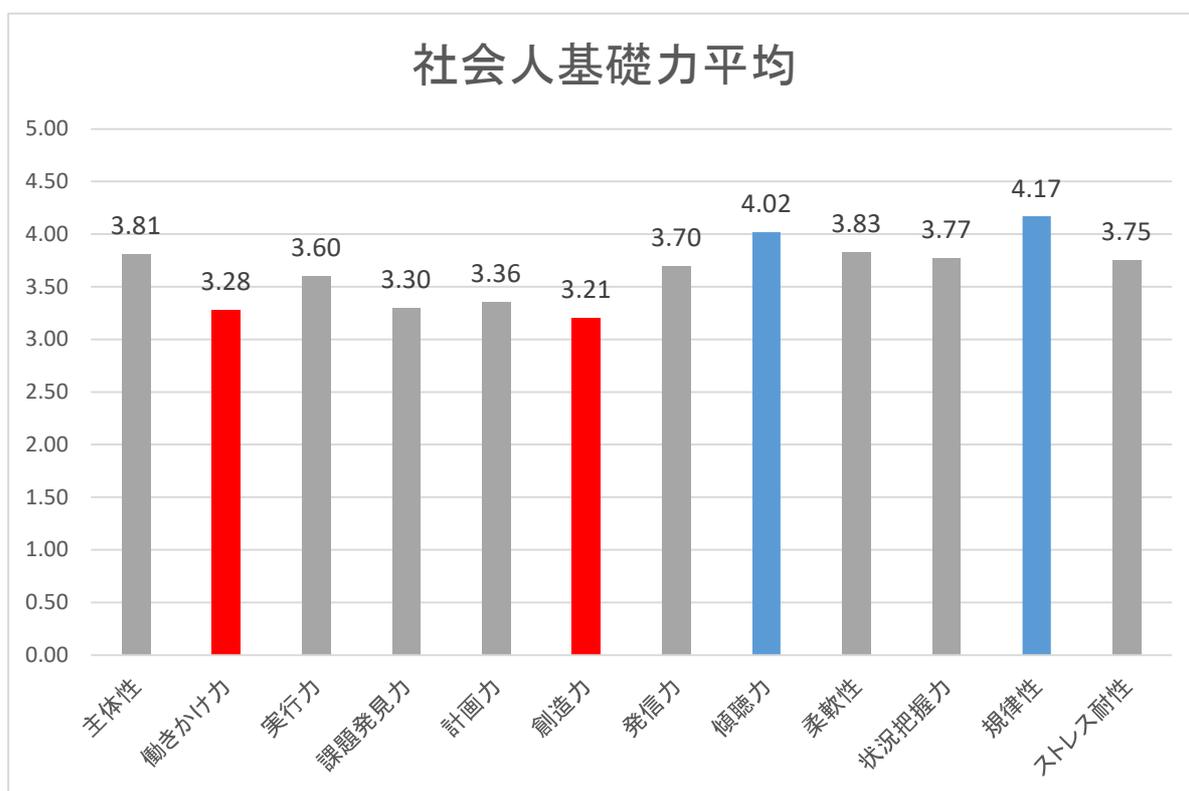
1～4名・・・9社　5～10名・・・1社　合計10社

|   | 身につけるべき能力・・・心理臨床学科卒業生   | 回答幅       | 平均点  |
|---|---|-----------|------|
| 1 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の考え方や理論について、自分の言葉で説明できる                                      | 3.00～4.00 | 3.88 |
| 2 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉のさまざまな研究法や技法について、実践を通して理解できる                                 | 3.00～5.00 | 4.00 |
| 3 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の専門的知識を身につけ、現場で活用できる   | 2.00～5.00 | 3.67 |
| 4 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉の協働的・実践的な学びを通して、対応力・判断力を高め、適切に活用し問題解決を行うことができる               | 2.00～5.00 | 3.80 |
| 5 | 多様な他者を理解し、他者と共生する社会の形成に向けて、社会の動向に関心を持ち、心理学、特別支援教育、精神保健福祉の視点を活かしてアプローチすることができる | 2.00～5.00 | 3.70 |
| 6 | 心理学、特別支援教育、精神保健福祉に関する卒業研究を通して、自らテーマを設定し、適切な方法で研究を進め、分析し、結果を整理して考察をまとめることができる  | 2.00～5.00 | 3.71 |



## Q6 社会人基礎力をどの程度身につけているか

| 12の能力       | 内容                     | 一般   | 幼保   | 小中   | 医療   | 平均   |
|-------------|------------------------|------|------|------|------|------|
| (1) 主体性     | 物事に進んで取り込む力            | 3.92 | 3.75 | 3.73 | 3.90 | 3.81 |
| (2) 働きかけ力   | 他人に働きかけ巻き込む力           | 3.25 | 3.31 | 3.27 | 3.30 | 3.28 |
| (3) 実行力     | 目的を設定して確実に行動する力        | 3.67 | 3.69 | 3.40 | 3.70 | 3.60 |
| (4) 課題発見力   | 現状を分析し目的や課題を見出す力       | 3.50 | 3.31 | 3.20 | 3.20 | 3.30 |
| (5) 計画力     | 課題の解決に向けたプロセスを明らかにする力  | 3.50 | 3.50 | 3.27 | 3.10 | 3.36 |
| (6) 創造力     | 新しい価値を生み出す力            | 3.33 | 3.13 | 3.20 | 3.20 | 3.21 |
| (7) 発信力     | 自分の意見をわかりやすく伝える力       | 3.83 | 3.69 | 3.60 | 3.70 | 3.70 |
| (8) 傾聴力     | 相手の意見を丁寧に聴く力           | 4.17 | 4.00 | 3.80 | 4.20 | 4.02 |
| (9) 柔軟性     | 意見の違いや立場の違いを理解する力      | 4.00 | 3.75 | 3.60 | 4.10 | 3.83 |
| (10) 状況把握力  | 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 | 3.83 | 3.69 | 3.53 | 4.20 | 3.77 |
| (11) 規律性    | 社会のルールや人との約束を守る力       | 4.42 | 4.25 | 3.87 | 4.20 | 4.17 |
| (12) ストレス耐性 | ストレスの発生源に対応する力         | 3.83 | 3.56 | 3.93 | 3.70 | 3.75 |



Q7 貴社・貴団体にとって必要と思われる能力・資質  
(各社5つの能力を選択)

| 12の能力          | 内容                     | 一般 | 幼保 | 小中 | 医療 |
|----------------|------------------------|----|----|----|----|
| <u>(1) 主体性</u> | 物事に進んで取り込む力            | 12 | 12 | 12 | 7  |
| (2) 働きかけ力      | 他人に働きかけ巻き込む力           | 2  | 2  | 4  | 2  |
| <u>(3) 実行力</u> | 目的を設定して確実に行動する力        | 13 | 9  | 6  | 6  |
| (4) 課題発見力      | 現状を分析し目的や課題を見出す力       | 4  | 8  | 11 | 4  |
| (5) 計画力        | 課題の解決に向けたプロセスを明らかにする力  | 2  | 6  | 4  | 1  |
| (6) 創造力        | 新しい価値を生み出す力            | 2  | 3  | 1  | 1  |
| (7) 発信力        | 自分の意見をわかりやすく伝える力       | 8  | 3  | 5  | 1  |
| <u>(8) 傾聴力</u> | 相手の意見を丁寧に聴く力           | 10 | 9  | 10 | 9  |
| (9) 柔軟性        | 意見の違いや立場の違いを理解する力      | 7  | 8  | 6  | 5  |
| (10) 状況把握力     | 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 | 4  | 6  | 6  | 6  |
| (11) 規律性       | 社会のルールや人との約束を守る力       | 6  | 10 | 3  | 2  |
| (12) ストレス耐性    | ストレスの発生源に対応する力         | 5  | 4  | 4  | 4  |

一般企業に必要とされる能力

人の話や意見を聴き、自ら考え目標達成のために、進んで行動する力

保育園・幼稚園に必要とされる能力

一般企業に求められる能力に加え、計画力や柔軟性等広い力。

小・中学校、支援学校に必要とされる能力

一般企業に求められる能力に加え、現状を把握する力や分かりやすく伝える力。

医療・福祉・施設に必要とされる能力

一般企業に求められる能力に加え、現状を把握する力や問題解決に向けた計画力。

## Q8 12の能力以外に、学生時代に身につけてほしい力

### (1)【一般企業】

- ・「社会人基礎的汎用能力」ですが、企業が出前授業として行くことができれば幸いです。
- ・社会人になると目上の人と接することが多くなるため、様々な能力とともに、好印象を与えるような話し方やマナーが備わっているとその分早く社会に溶け込めると思います。その点を更に充実させていただければと感じます。
- ・様々なスキルを身につけてほしい。またそのスキルを具体的に活かした経験等をたくさんしてもらいたい。
- ・相手の立場に立って物事を見ることができる。主体性、能動的。
- ・何事にも積極的にチャンスがあれば是非手を挙げていただきたい。
- ・コミュニケーション能力
- ・チームワークを大切に活動やチーム力を発揮した経験など。

### (2)【保育園・幼稚園】

- ・大学時代に身につけてほしい力は、まず社会人でありアルバイトではなく、プロの幼稚園の教師であることを自覚して園児たちと接してほしいと思います。
- ・協調性、共働性、発展性等、過去のカラーを打破して共に進歩する意欲、意志。指導力を発揮するリーダー的資質。
- ・聴いて行動にうつすことができる力。
- ・実際保育が始まると、子どもの個性やいろいろな条件等で同じ対応をする訳ではないので、その力は経験がベースとなって育っていくと思うが、人と会話をするスキルや文章を作る、書く、所作の美しさ（最低限度の）等、その人の人柄、第一印象と言われる部分は学生のうちにしっかり身につけてほしいと感じています。

### (3)【小・中学校、支援学校等】

- ・社会性、使命感、協働性。
- ・教師である前に社会人であること。挨拶、特に誠実さ、器用にできずとも積極的に動く姿を求めたい。
- ・周囲の状況から物事の本質を正確に理解しようとする力。（課題を正確にとらえる力）
- ・自らの言動に対して根拠を持ち、周囲と協調しながら、児童・生徒を育もうとする力。
- ・様々な困難なことに耐えて対応できる力。
- ・思い通りにならなくても我慢する力。（繰り返しの指導が必要）
- ・教育のプロとして自分自身の学び（専門性）を高め続ける姿勢と行動力（他力ではなく）
- ・様々な課題に直面した際に現状を分析してチームアプローチができる力。
- ・特別支援教育に対する深い情熱。
- ・社会性（コミュニケーション力）
- ・豊かな人権感覚、組織的な課題に対応する力、教育者としての使命感、向上心。
- ・子ども・保護者の立場に立って考えることの重要性を身につけてほしいです。

#### (4) 【医療・福祉・病院】

- ・(6)に近いですが、専攻や得意分野とは離れたもの、事象にも興味・関心を持つ視点。
- ・忍耐強く、冷静に物事を判断できる能力。
- ・障がい者を社会弱者ととらえて、自身が職業人としてどう向き合うべきかをしっかりと考えていただきたい。
- ・物事を多角的に考える力。子どもの行動に対し、その背景に何があるのか、見えない部分に何か物事の本質があるのではないかと様々な角度から考えることで、援助方法も変わってきますので、見えないところまで気を配ることが求められます。
- ・社会性
- ・言葉使い等、指導してほしい。

### Q9 本学の学生のどのような点を評価して採用していただいたのか

#### (1) 【一般企業】

- ・目標が明確であり、コミュニケーションに対する意識が高いため。
- ・素直さ、真面目さは他大学と比べても優秀であり、入社してから実直に努力してくれると感じたため。
- ・コミュニケーション能力の高さ、良い意味で周りを巻き込んでいける力、素直に自分の言葉で自分の思いを伝えていける力を評価し、採用させていただきました。
- ・実行力、発信力があつた点。
- ・自身の幸せだけでなく、仕事を通じて関わる人（お客様、社員など）の幸せを考えながら行動できる点。
- ・現在2名（2018、2019卒）の卒業生の方にご活躍いただいております。おひとりの方におかれましてはインターンシップより早い段階で弊社と接点を持っていただき熱心に志望してくださいました。
- ・一人ひとり異なるため、回答を控えさせていただきます。
- ・自分の考えをしっかりと持っており、当組合のことについてもよく理解していた。
- ・人と接することが好きで、チームの中で他者と協力しながら活躍できる人材。
- ・個人の能力からコミュニケーション力や向上心が高く、一緒に働いていけそうだと判断したため。

#### (2) 【保育園・幼稚園】

- ・長いルーテル大学との就職活動の関係で、ルーテル大学の学生は安心して幼稚園教諭として採用できる安心感がある。現在は学生は大学の伝統的な価値観がなくなっている。
- ・本人の表情が豊かでやる気のあるところ。明るく、受け答えができるところ。子ども達や保護者に寄り添い、自ら考えようとするところ。
- ・規律性、意欲、人柄、表情（人に与える感じ良さ）等を面接により把握するよう努力している。
- ・基本的な挨拶、笑顔、健康。

- ・4年間しっかり学んできているであろう、という部分はルーテルを信頼、信用しての採用です。
- ・積極的に取り組む労、丁寧な言葉遣いや笑顔に好感を持てる。
- ・社会人として基本的な部分はできているように思う。素直に従ってくれるので話がしやすい。
- ・落ち着いていて人柄が誠実で、仕事に対する意欲を感じました。

### (3)【小・中学校、支援学校等】

- ・素直で誠実である。責任感が強い。バイタリティがある。
- ・採用部署が異なり分かりませんが、幼児児童生徒のことが好きであることと、教えることが好きであること。
- ・教育実習等で見られる学びに対する素直な姿勢。
- ・子どもが好きであるという基本的姿勢。
- ・担当は教育委員会事務局なのでわかりません。

### (4)【医療・福祉・病院】

- ・とても前向きで目標に向かって努力を継続できる点。いろんな立場の人への傾聴や視点を欠かさず、相手の気持ちを理解しようとする心。自分の中にしっかりとした価値観や道徳心を持ち、信念があるところ。
- ・人の言うことを聞ける力と対人に対しての対応力。
- ・しっかりとした受け答え、意欲的な姿勢。
- ・当院の診療科目に興味を持っていただけた点を評価しました。
- ・素直さ、基本的な生活習慣やマナー（挨拶、勤務態度）
- ・専門の資格取得に向け、まじめに取り組む姿勢や素直なところ
- ・精神保健福祉の資格。

## Q10 本学について、卒業生にどのようなイメージをお持ちなのか

### (1)【一般企業】

- ・協調性に優れており、努力家が多いと思います。心理的な落ち着きもあり、当社とマッチしている学生が多く、毎年楽しみです。
- ・真面目で控えめな学生が多い印象です。
- ・真面目、コツコツ、言われたことをやり抜く力などの能力があるイメージでございます。
- ・頭も心も磨いて下さる大学のイメージがございます。これからも良いご縁があればと願っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。
- ・活発で行動力があるイメージ。
- ・素直、勤勉、成長意欲。
- ・落ち着いている印象があります。
- ・学生に対する指導はしっかりされている印象です。
- ・学生と先生の距離が近く、アットホームなイメージです。

- ・主体性があり、自分の意見をしっかりと持ち、責任感をもって何事にあたる人材なので、将来のキャリアアップを楽しみにしております。

## (2) 【保育園・幼稚園】

- ・1年1年採用している学生さんは良い面もあるが、とても現代っ子のように（隣の庭は良い芝に見えるように）簡単に転園してしまう。
- ・とても真面目で取り組む姿勢も一生懸命です。また、表情がとても良く、本人が子どもや保護者の方と丁寧に関わり、対応できていて安心できる存在です。
- ・幼稚園教諭としての誇りと意欲有り。どこの学生も一緒だが協調性、指導力が不足している。リーダー的役割を担う人材を是非送り込んでいただきたい。
- ・笑顔で保護者、園児と対応できている。1年目は保護者との関わりに悩んでいたが、良く頑張っている。素直で何でも吸収できる良い人材です。
- ・岩下楓さんが貴大学からの初の採用でした。性格、保育に対する考え、取り組み、計画性等々、とても優れているので今後も貴大学の採用を考えていきたい。
- ・ルーテルの卒業生はまじめだと思います。経験年数を重ね、得意を見つけて保育の仕事を楽しく、発送豊かに伸ばしながら…そうしてくれるといいなと思って育てています。子どものことが好きで、よく見る（子ども理解）ことができるなと思います。

## (3) 【小・中学校、支援学校等】

- ・貴大学で学ばれ、教師としての資質・能力を身につけている。信頼できる大学だと思います。
- ・何事にもまじめに素直に受け止めて行動できる。周りと協力して職務を遂行できる。明るく、前向きである。
- ・貴校でどのようなことを学んだのか、話をしたことがないため大学のイメージは特にありません。本人はいたって真面目で勤務態度もよくやってくれています。強いていうなら教員にとって大切な能力を培うには優れた授業をどれだけ知っているか、そのような授業に興味があるかという問いに答えることができるような大学の教育課程があるかどうかだと思っております。
- ・採用試験勉強をよくしているイメージがある（現在）。どの大学、卒業生の新任よりも優れ、常に周囲の助言に耳を傾け、失敗から学び取るすばらしい人物であった。
- ・明るく、前向きに何事も取り組もうとするイメージ。
- ・実習生、フィールドワークの学生を毎年受け入れているが、教師になるという強い意志を持っている学生が多い。職員の中に2人卒業生がいるが、2人とも子どもに寄り添い、他の職員とおコミュニケーションも良好で、いい先生です。
- ・教育実習で経験を積み重ねており、真剣に取り組まれていらっしゃると思います。将来を担う子どもの育成のためにも多くの学生さんが教職員を目指していただければと思います。
- ・教育現場におられる卒業生の姿は様々です。1日1日、1年1年学び、力をつけておられる方もおられれば、現状に甘んじている方もおられます。
- ・現場での育成により、伸びていかれる方は志の高い方、自ら考え実践しようとする行動のある方、周囲の助言を素直に受け止め悩みながらも1歩進める力のある方です。そのよう

な方々は本校にとっても貴重な人材となられています。

- ・近年の教職を目指す学生の育成についてとてもいい学生を育ててもらっている。
- ・九州ルーテル学院大学は、学生 1 人 1 人丁寧に育てておられるイメージがあります。本校に勤務する卒業生も、素直で前向きに何事にも積極的に取り組む姿勢が見られます。1 人 1 人を大切にする丁寧な指導が、卒業生の人間性に繋がっていると感じています。
- ・短期大学の頃から多くの教員を輩出している。

#### (4) 【医療・福祉・病院】

- ・専門性を身につけるためにしっかりと勉学に励む学生の雰囲気。他大学よりも真剣な学生が多く在籍していると感じました。(何度かキャンパスに伺った際)
- ・学生に対してしっかりしたフォローをされている先生方も多く、卒業後も良好な関係が築かれているようです。
- ・当院の実務に直接生きる専門分野ではないが、社会人としての基本はしっかり身につけていると思っています。
- ・概ね良いイメージはありますが、来年度の募集予定は今のところありません。
- ・真面目な中にも明るい面があり、周囲と協力体制のとれる職員です。子どもに対して落ち着いた対応のとれる職員、子どもと楽しむ時だけでなく、注意をする時も子どもと一緒に考えたりできるので、これからもっと経験を重ねる中で成長していかれるのが楽しみな職員です。
- ・これまでの貴校からの採用は 1 名のため、貴校や貴校の卒業生に対するイメージを持つほどの対象がないことが正直なところですが、採用させていただいた 1 名の卒業生に関していえば、周囲の状況を理解して主体的に行動できる人物であり、傾聴、共感等のコミュニケーション能力に優れています。Q6 の結果を見てもわかるとおり、「社会人基礎力」を身につけた人材を採用させていただき感謝しております。
- ・基礎的な力(知識・技法等)お身につけたうえで社会に出てきている。今後とも育成をよろしくお願いします。
- ・守られた中で専門的な学びをしてきた真面目で素直な一面があるが、社会のルール(休み取得や協調性)が少しゆるい(理解に乏しい)感じがある。
- ・社会人としてのスキルにかける。

\*雇用先アンケートに対する各学科、専攻からの所感

キャリア・イングリッシュ専攻

今回のアンケート結果を見ると、企業からは社会人として働く上で求められる基礎力として、特に主体性や実行力が求められており、一方で、人の話や意見を聞く傾聴力も求められていることが分かる。また、小中の現場では、同じく主体性や傾聴力が求められているが、それと同時に自らが課題を発見する力が求められている。

キャリア・イングリッシュ専攻の学生は、1年次から段階的に英語や異文化、ITやビジネスについて学び、社会に巣立っている。コミュニケーション力や発信力については、在学中からアクティブな学生も多く、卒業後の評価もそれを反映してか低くない。しかし、残念なことに、グローバルな視野と多様性の理解について、評価がやや下がっているのが懸念される。コロナ禍もあり、異文化に触れたり、海外体験をしたりすることが可能かどうか懸念もあるが、何らかの方法を模索し、学生に様々な機会を提供していきたい。また、学生が受け身にならず、主体的に何かを学び、実践する力を養うことも必要であろう。

保育コース

保育コースの学生の多くが、入学時から保育従事者（保育士・幼稚園教諭・保育教諭等）を目指して学びを深めている。従って、希望が叶って就職できたことの喜びは大きく精一杯学びを活かした活躍をしている様子が窺えた。また、就職後に自身を振り返り、新たな保育者像や理想のワークライフバランスを模索しながらの就職1年目であると予想できる。

今後、専門職として長い時間をかけながら、保育の働き甲斐や希望を持ち、自己研鑽できることを期待したい。そのためには、周囲の保育者や卒業後の教職員の温かなまなざしが重要になるということが読み取れる。

児童教育コース

本年度の評価は昨年度と比較すると総じて低くなっている。結果から読み取れた傾向としては、本学卒業生はある程度の耐性を身に付けることができているが、教師個人としての取り組みとしては卒なくこなしているが、創造力を発揮しながら教師集団の先頭に立ち、学校を引っ張っていくような高い実力までは多くの学生が獲得できていないということである。今後、各自が経験を積んで自身の能力が発揮できることを期待すると共に、児童教育コースでも教育現場の期待に応えられるように、学生が自分の言葉で説明できる力、論理的思考力並びに発信力を高め、様々な課題に直面した際に現状を分析してチーム・アプローチができる力の育成に注力する必要がある。

心理臨床学科

進路先からは必要な社会人基礎力として人の話や意見に耳を傾け、何事にも進んで取り組み、自ら考え立てた目標に確実に行動する力が求められている。心理臨床学科の学生は規律性と傾聴力の高さが評価され、日頃の大学における講義やサークル活動、ボランティア活動などを通じた学生の姿からも頷けるものであった。

一方で、創造力、課題発見力、計画力の評価が低く、これらを合わせると自ら考え主体的に動くより指示に合わせ従順に動く傾向の強さが見えてくる。一見適応的ではあるが進路先が求める能力としては半分である。大学教育の中ではそれぞれの専門領域について自ら学び考える習慣を日頃より身に付ける指導が必要である。学生には知識を探究する姿勢や思考力、発言力等の向上が望まれる。また、一部より社会人としての言葉遣いや規範意識のゆるさへのご意見を頂いており、個別性があるものの、社会人としての態度や責任に関する意識づけも必要であろう。